

特殊血液浄化療法

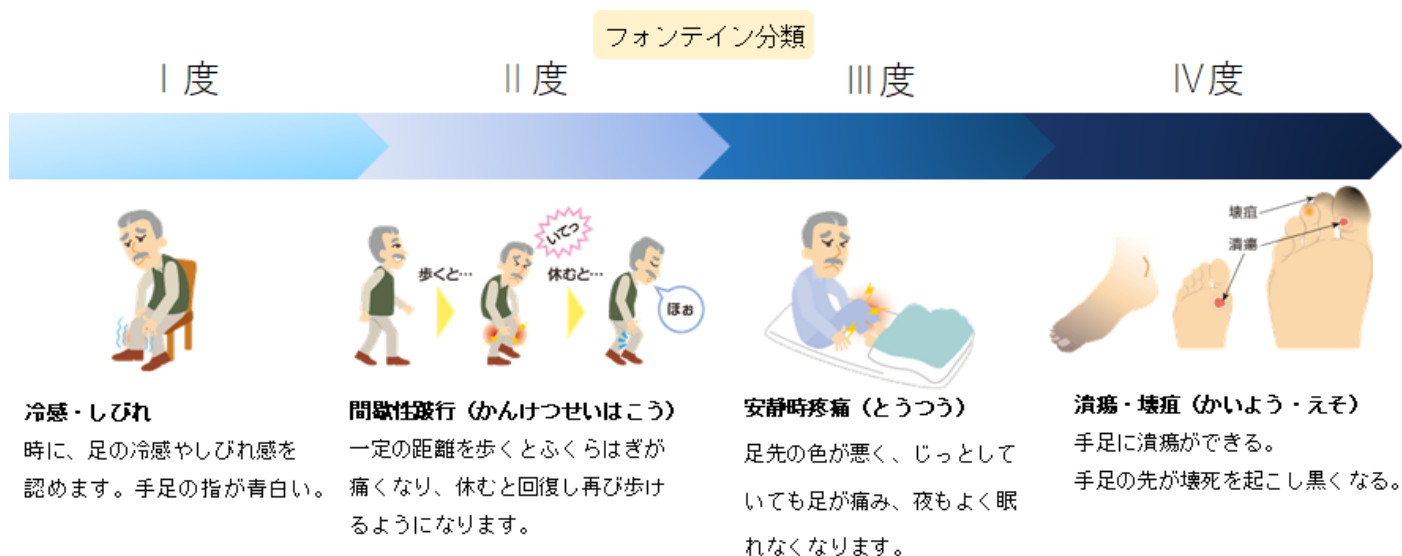
当院では血液透析の技術と知識を活かし、ASO（閉塞性動脈硬化症）や潰瘍性大腸炎の病気に対する特殊血液浄化療法も行っています。

ASO（閉塞性動脈硬化症）に対する体外循環療法

ASOとは動脈硬化のため、手や足の血管が狭くなったり血管が詰まることで、血液の流れが悪くなり足先が痺れたり歩くのが困難になるなどの症状が現れます。

そのまま放置しておくと血流が途絶えて、足が壊死（組織の一部が死んだ状態）となってしまい最悪の場合は切断という事態に至ることもあります。

ASOの症状



ASOの治療法

- ・薬物療法（抗血小板薬、血管拡張薬、抗凝固薬を主に使用）
- ・カテーテル治療（血管内をバルーンで拡張）
- ・外科的治療（人工血管や自己静脈を用いて血行再建）
- ・理学療法（禁煙指導、運動療法）

上記に加え、体外循環で行う特殊血液浄化療法と併用する、先行して行う、また後で行うなど治療のタイミングは症状によって変わってきます。

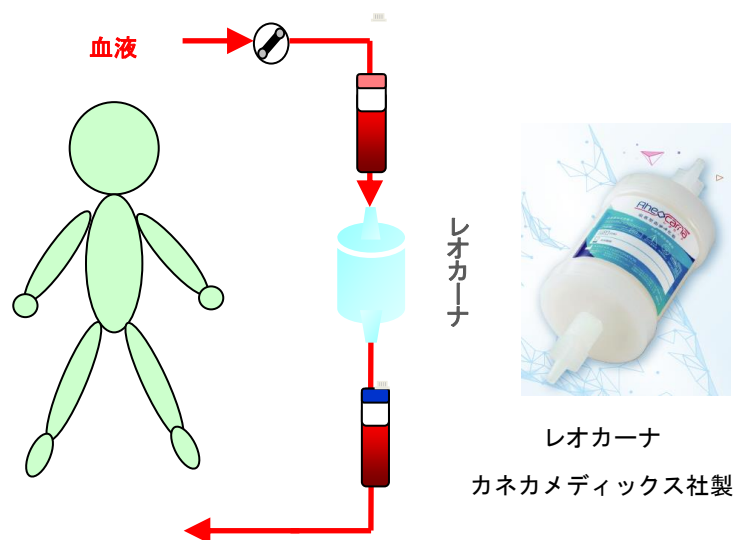
当院ではDHP（直接血液灌流療法）、PA（血漿吸着療法）、DFサーモ（二重濾過血漿交換療法の変法）の特殊血液浄化療法を行っています。

治療概要

どの特殊血液浄化療法を選択しても治療目的は同じです。血液中のLDLコレステロール及びフィブリノーゲンを吸着、また除去し、血流改善により末梢血液循環の改善を導き、治性潰瘍を治療することを目的としています。

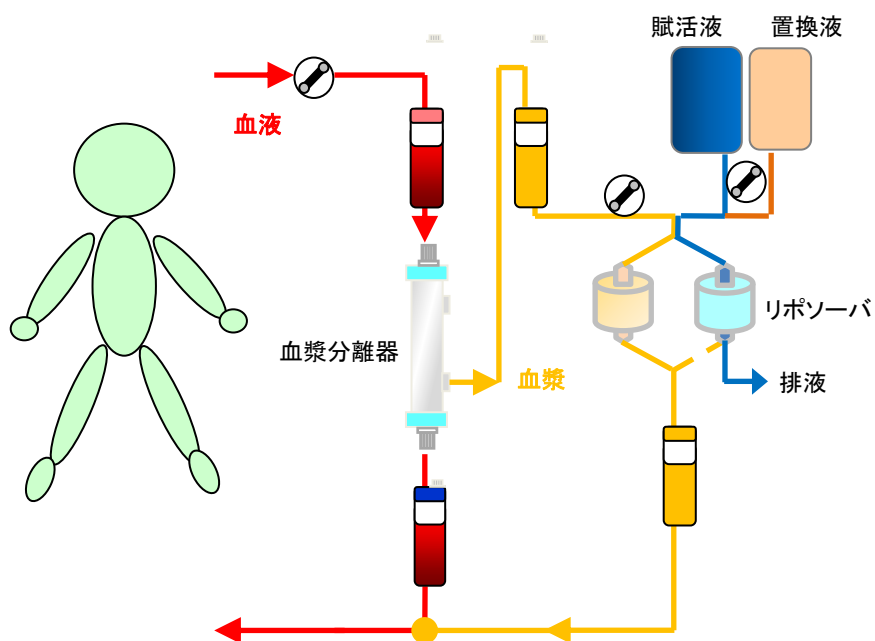
治療法によって保険適応の違い、禁忌薬剤休薬の必要がある、内服中の降圧薬により治療法を選択する、普段の血圧による選択、治療回数に違いがあります。

DHP（直接血液灌流療法）



- ・腕の静脈に太めの針を2本穿刺し脱血と返血を行います。
- ・治療時間は2時間です。
- ・治療中は血圧を適宜測定します。PA・DFサーモに比し血圧が下がりやすいとの報告もあります。
- ・ACE変換酵素阻害薬を内服中の方はレオカーナの吸着成分により、血液中のブラジキニンの賦活化がより高まることで急激な血圧低下を引き起こしますので4週間の休薬が必要です。
- ・休薬がなされたうえで、ブラジキニンの賦活化による血管拡張効果も有効と言われています。
- ・フォンテイン分類4度からの適応になり、循環器科医師と連携をとりながら行います。
- ・治療回数は3か月の期間中に週に2回×12週、計24回行います。

PA（血漿吸着療法）



専用装置
MA-03



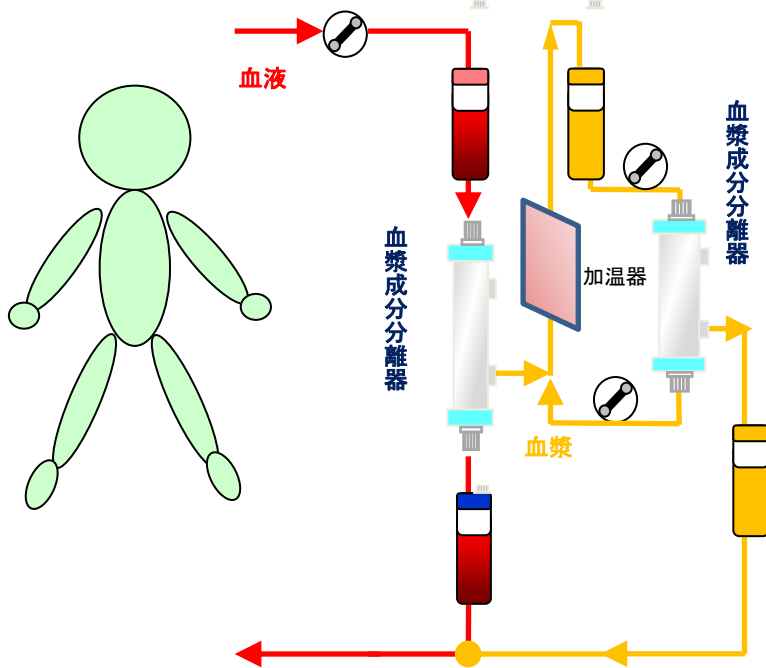
血漿分離器



吸着カラム
リポソーバ

- ・腕の静脈に太めの針を2本穿刺し脱血と返血を行います。
- ・治療時間は体重の違いにより血漿処理量が多少変わりますので約1.5時間～3時間となります。
- ・治療中は血圧を適宜測定します。
- ・ACE変換酵素阻害薬を内服中の方はリポソーバの吸着成分により、血液中のブラジキニンの賦活化がより高まることで急激な血圧低下を引き起こしますので4週間の休薬が必要です。
- ・休薬がなされたうえで、ブラジキニンの賦活化による血管拡張効果も有効と言われています。
- ・フォンテイン分類2度からの適応になります。
- ・治療回数は3か月の期間中に計10回行います。
- ・DFサーモと併用可能です。治療回数は合わせて10回となります。

DFサーモ（二重濾過血漿交換療法の変法）



専用装置

KM-9000



血漿分離器



血漿成分分離器

- ・腕の静脈に太めの針を2本穿刺し脱血と返血を行います。
- ・治療時間は体重の違いにより血漿処理量が多少変わりますので約1.5時間～3時間となります。
- ・治療中は血圧を適宜測定します。
- ・禁忌薬は無いので休薬を必要とする薬剤はありません。
- ・血漿を加温器で温めてから血漿成分分離器に通すことで、膜の目詰まりが起こりにくく工夫されています。
- ・フォンテイン分類2度からの適応になります。
- ・治療回数は3か月の期間中に計10回行います。
- ・PAと併用可能です。治療回数は合わせて10回となります。

潰瘍性大腸炎に対する顆粒球除去療法

GCAP療法

顆粒球吸着療法は炎症性腸疾患に対して使用可能です。炎症の原因となる顆粒球を選択的に除去

および機能を変化させることによって炎症を鎮める効果があります。この治療は潰瘍性大腸炎、クローン病に対して保険適用となっております。ここでは潰瘍性大腸炎についての紹介をいたします。



はじめに顆粒球とは

白血球の中の1つで、体内に入ってきた異物や細菌などを食べて体を守ります。



潰瘍性大腸炎とは

炎症性腸疾患の患者さんの腸には特に顆粒球が集まり、何らかの原因で過剰に増えた顆粒球は自分の腸を攻撃し破壊してしまいます。

これが大腸の粘膜にびらん（ただれ）や潰瘍を引き起こしてしまいます。



症状と経過

下痢や腹痛、粘血便（血液や粘液の混じった便）、発熱や体重の減少があらわれます。



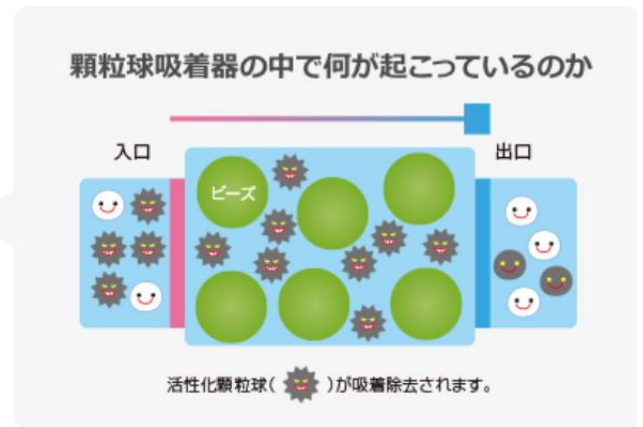
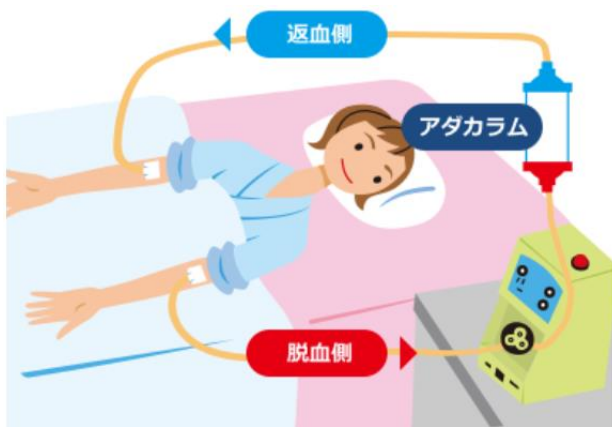
治療方法

薬物による内科的治療法と手術による外科的療法があります。また体外循環により血液中から血球成分を取り除く血球成分除去療法があります。

当院では、各病院の専門医と連携を図りながら治療をすすめていきます。人工透析治療の経験を活かし体外循環による顆粒球除去療法（GCAP療法）を行うことが可能な施設です。



GCAP療法：アダカラムというフィルターにて血液中の主に顆粒球、単球を吸着・除去し炎症を速やかに鎮静する治療法です。



参考、引用 <https://www.jimro.co.jp/medical-karyu.php>

治療スケジュール

1週間に1回、または2回の治療を行い、合計10回の治療を行います（劇症は11回まで可能）。

1回の治療時間は約1時間です。

来院日程は、患者さんのスケジュールと当院で治療可能な時間帯を合わせて予定をたてていきます。

※潰瘍性大腸炎の寛解維持に対する保険適用（令和4年1月1日適用）が開始されています。

寛解期の潰瘍性大腸炎で既存の薬物治療が無効、効果不十分又は適用できない難治性患者（厚生省 特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班の診断基準）に対しては、寛解維持を目的として行った場合に限り、原則として一連につき2週間に1回を限度として48週間に限って算定する。

治療の実際

- ⇒ 体調をチェックし血圧などを確認します。
- ⇒ 左右の腕に少し太めの針を刺して一方の腕から血液を外に導き出します。フィルターを通したあともう一方の腕に血液を戻します。
- ⇒ 治療中はベッドで横になったり、座ったりすることが可能です。その間テレビを見たり、音楽を聴いたりして過ごせます。
- ⇒ 治療終了後は外に出た血液を戻します。血圧を測定し体調を確認してから針を抜き、止血が終わればこれで1回の治療は終了です。



効果・効能・副作用、またその他に関してはこちらをお読みください。

株式会社 JUMRO <https://www.jimro.co.jp/medical-product-adacolumn.php>